

議案番号		117	令和7年度大山町一般会計補正予算(第6号)					
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)		
款	35	商工費	項	5	商工費	目	2	商工振興費
事業番号		1625	事業名		デジタル技術活用人材育成事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町民及び町内企業に勤務する者			総合計画における位置づけ		
						13 若者がはたらきたくなる会社や仕事を増やそう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		町民や町内勤務者が先端デジタル技術を習得する機会を提供し、デジタル人材育成による定住促進・雇用創出、地域企業の生産性向上・新規事業の可能性拡大を図る。			「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ		
						経済と産業の発展		
						根拠法令・要綱等		
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0		5,280					5,280	0
補正理由・事業概要					今回補正額の経費内訳			
【背景】 建設業・製造業など多くの業種で3Dデジタル技術の活用が進んでいるが、町内企業ではデジタル技術のある人材が不足している 【目的】 ・町民・町内企業勤務者を対象に、先端デジタル人材を育成 ・地域産業の競争力強化と地域定住の促進 【対象】町民、町内勤務者 【規模】15人 × 10回コース 【内容】3Dデジタル等先端技術の基礎習得 【期待される効果】 デジタル技術即戦力人材の育成 地域産業の競争力強化 若者・子育て世代の学びの機会創出による定住促進 リモートワークが可能な技術取得 【KPI】(短期成果) ・受講者数(延べ人数):150人(15人／回×10回) ・受講後アンケートで「理解できた」「業務で活用したい」と回答した割合:80%以上 (財源内訳の詳細 単位:千円)					委託料 <			